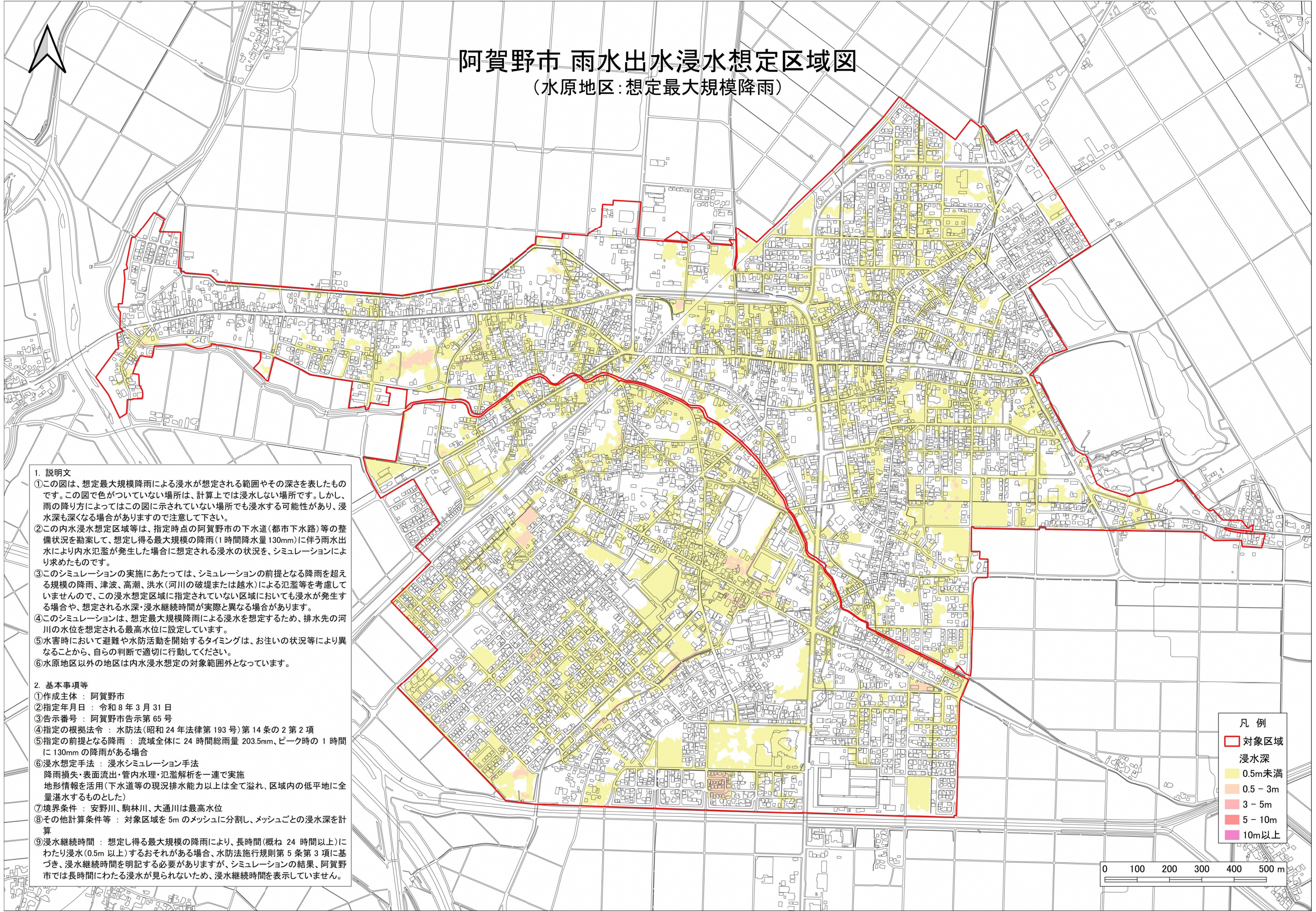


# 阿賀野市 雨水出水浸水想定区域図 (水原地区: 想定最大規模降雨)



1. 説明文
- ①この図は、想定最大規模降雨による浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい。
  - ②この内水浸水想定区域等は、指定時点の阿賀野市の下水道(都市下水路)等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(1時間降水量130mm)に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
  - ③このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水(河川の破堤または越水)による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深・浸水継続時間が実際と異なる場合があります。
  - ④このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先の河川の水位を想定される最高水位に設定しています。
  - ⑤水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。
  - ⑥水原地区以外の地区は内水浸水想定の対象範囲外となっています。
2. 基本事項等
- ①作成主体：阿賀野市
  - ②指定年月日：令和8年3月31日
  - ③告示番号：阿賀野市告示第65号
  - ④指定の根拠法令：水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項
  - ⑤指定の前提となる降雨：流域全体に24時間総雨量203.5mm、ピーク時の1時間に130mmの降雨がある場合
  - ⑥浸水想定手法：浸水シミュレーション手法  
降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施  
地形情報を活用(下水道等の現況排水能力以上は全て溢れ、区域内の低平地に全量湛水するものとした)
  - ⑦境界条件：安野川、駒林川、大通川は最高水位
  - ⑧その他計算条件等：対象区域を5mのメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算
  - ⑨浸水継続時間：想定し得る最大規模の降雨により、長時間(概ね24時間以上)にわたり浸水(0.5m以上)するおそれがある場合、水防法施行規則第5条第3項に基づき、浸水継続時間を明記する必要がありますが、シミュレーションの結果、阿賀野市では長時間にわたる浸水が見られないため、浸水継続時間を表示していません。

凡例	
	対象区域
	浸水深 0.5m未満
	0.5 - 3m
	3 - 5m
	5 - 10m
	10m以上

